



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所 東
 コード番号 4975 URL <https://www.jcu-i.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 小澤 惠二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役専務執行役員 (氏名) 木村 昌志 (TEL) 03-6895-7004
 経営戦略室長兼管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,335	3.0	5,065	20.7	5,063	27.1	3,702	26.3
29年3月期第3四半期	15,852	8.0	4,198	12.0	3,983	5.1	2,931	13.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,191百万円(140.7%) 29年3月期第3四半期 1,741百万円(△20.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	266.16	—
29年3月期第3四半期	209.41	—

(注) 平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,945	21,706	72.2
29年3月期	26,095	18,457	70.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 21,618百万円 29年3月期 18,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
30年3月期	—	35.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	85.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成30年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 5円00銭
 3. 平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年3月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	8.4	6,650	20.9	6,650	20.9	4,900	18.8	352.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) JCU表面技術(湖北)有限公司、除外 1社(社名)

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	14,117,037株	29年3月期	14,109,600株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	201,080株	29年3月期	201,042株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	13,912,508株	29年3月期3Q	14,000,263株

(注) 平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの業績は、国内及び海外における薬品の販売が好調に推移したことにより、大型めっき装置及びプラズマ装置の販売が減少したものの、売上高は16,335百万円（前年同期比3.0%増）となりました。この結果、営業利益は5,065百万円（前年同期比20.7%増）、経常利益は5,063百万円（前年同期比27.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,702百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、ハイエンドスマートフォン向けのプリント配線板製造を行う顧客において新工法の量産があったことに加え、中国系スマートフォン向けの需要が底堅く堅調に推移したことにより、中国、台湾、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が順調に推移しました。中国においては日系自動車の生産及び販売が好調であったことから、自動車部品用めっき薬品販売も堅調に推移しました。また、国内の薬品販売においても、電子分野向けを中心に回復基調で推移しました。この結果、売上高は14,533百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益は5,779百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

(装置事業)

装置事業におきましては、大型めっき装置案件を獲得したことから、受注高は4,145百万円（前年同期比125.8%増）となりました。手持ちの工事契約は増加したものの、製作・据付工事に時間を要することから、売上高は1,334百万円（前年同期比32.5%減）、セグメント利益は27百万円（前年同期比84.2%減）となりました。なお、受注残高は3,175百万円（前年同期比303.6%増）となりました。

(新規事業)

新規事業におきましては、前年同期好調であったプラズマ装置の受注が減少したことにより、受注高は316百万円（前年同期比40.1%減）となりました。受注が減少した影響から、売上高は467百万円（前年同期比70.1%減）、セグメント損失は85百万円（前年同期はセグメント利益51百万円）となりました。なお、受注残高は1,201百万円（前年同期比187.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,849百万円（14.8%）増加し、29,945百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金の増加により3,521百万円（18.5%）増加し、22,528百万円となりました。

固定資産は、主に保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加により328百万円（4.6%）増加し、7,416百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ600百万円（7.9%）増加し、8,238百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が減少した一方、主に前受金が増加したことにより403百万円（7.3%）増加し、5,957百万円となりました。

固定負債は、主に借入実施による長期借入金の増加により197百万円（9.5%）増加し、2,281百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金支払いによる利益剰余金の減少の一方、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ3,249百万円（17.6%）増加し、21,706百万円と

なりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月2日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,913,204	12,405,728
受取手形及び売掛金	6,264,007	7,004,547
商品及び製品	1,166,494	1,230,095
仕掛品	110,270	134,435
原材料及び貯蔵品	386,724	402,445
繰延税金資産	607,735	421,997
その他	750,926	1,114,096
貸倒引当金	△191,755	△184,369
流動資産合計	19,007,609	22,528,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,081,858	2,415,375
機械装置及び運搬具(純額)	662,919	648,963
工具、器具及び備品(純額)	518,069	485,239
土地	522,824	522,824
リース資産(純額)	112,306	95,117
建設仮勘定	339,195	66,810
有形固定資産合計	4,237,173	4,234,330
無形固定資産		
のれん	6,295	2,301
その他	62,725	52,380
無形固定資産合計	69,021	54,682
投資その他の資産		
投資有価証券	2,300,420	2,739,249
繰延税金資産	107,660	38,264
その他	373,503	349,593
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,781,584	3,127,107
固定資産合計	7,087,779	7,416,120
資産合計	26,095,388	29,945,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,461,353	1,400,254
電子記録債務	1,372,499	1,468,646
短期借入金	52,609	281,223
1年内返済予定の長期借入金	419,184	487,355
リース債務	21,920	18,320
未払法人税等	887,048	446,867
賞与引当金	335,545	243,431
工事損失引当金	13,962	13,962
前受金	40,461	567,247
繰延税金負債	42,314	82,575
その他	907,068	947,372
流動負債合計	5,553,967	5,957,257
固定負債		
長期借入金	645,741	730,516
リース債務	125,736	113,076
退職給付に係る負債	1,036,391	1,115,219
繰延税金負債	1,675	48,640
資産除去債務	214,795	218,610
その他	59,940	55,307
固定負債合計	2,084,280	2,281,370
負債合計	7,638,247	8,238,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,255	1,191,575
資本剰余金	1,124,592	1,141,298
利益剰余金	15,433,294	18,162,325
自己株式	△320,931	△321,081
株主資本合計	17,413,210	20,174,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363,391	661,027
為替換算調整勘定	613,475	783,147
その他の包括利益累計額合計	976,867	1,444,175
非支配株主持分	67,062	88,175
純資産合計	18,457,140	21,706,468
負債純資産合計	26,095,388	29,945,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	15,852,961	16,335,514
売上原価	6,598,055	5,955,391
売上総利益	9,254,905	10,380,122
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,678,891	1,756,307
賞与	490,595	503,531
退職給付費用	94,629	100,081
減価償却費	268,258	278,204
貸倒引当金繰入額	373	—
その他	2,523,867	2,676,532
販売費及び一般管理費合計	5,056,615	5,314,656
営業利益	4,198,289	5,065,466
営業外収益		
受取利息	17,503	18,190
受取配当金	29,277	30,579
持分法による投資利益	14,954	—
貸倒引当金戻入額	—	7,183
その他	20,701	21,870
営業外収益合計	82,436	77,823
営業外費用		
支払利息	12,504	15,293
為替差損	270,698	37,566
持分法による投資損失	—	21,062
その他	13,628	5,832
営業外費用合計	296,832	79,755
経常利益	3,983,894	5,063,534
特別利益		
固定資産売却益	88	1,281
受取保険金	20,014	—
特別利益合計	20,102	1,281
特別損失		
固定資産売却損	543	5,036
固定資産除却損	9,941	1,857
減損損失	24,954	—
事業整理損	17,731	—
特別損失合計	53,170	6,893
税金等調整前四半期純利益	3,950,826	5,057,921
法人税、住民税及び事業税	978,748	1,130,293
法人税等調整額	13,532	210,206
法人税等合計	992,280	1,340,500
四半期純利益	2,958,545	3,717,421
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,811	14,532
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,931,734	3,702,888

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,958,545	3,717,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103,307	297,636
為替換算調整勘定	△1,278,427	150,154
持分法適用会社に対する持分相当額	△41,971	26,124
その他の包括利益合計	△1,217,091	473,915
四半期包括利益	1,741,453	4,191,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,736,814	4,170,196
非支配株主に係る四半期包括利益	4,638	21,140

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したJCU表面技術(湖北)有限公司を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,315,091	1,976,163	1,561,705	15,852,961	—	15,852,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,315,091	1,976,163	1,561,705	15,852,961	—	15,852,961
セグメント利益	4,581,867	171,491	51,173	4,804,531	△606,241	4,198,289

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,157
全社費用※	△609,399
合計	△606,241

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失24百万円は遊休資産にかかるものであり、報告セグメントに配分しておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,533,507	1,334,781	467,225	16,335,514	—	16,335,514
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,533,507	1,334,781	467,225	16,335,514	—	16,335,514
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,779,412	27,103	△85,036	5,721,479	△656,013	5,065,466

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	—
全社費用※	△656,013
合計	△656,013

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。